（別紙４）

公表　保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	そら			
○保護者評価実施期間	令和8年1月24日		～	令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	4	（回答者数）	4
○従業者評価実施期間	令和8年1月24日		～	令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	8
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月24日		～	令和8年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	（対象数）	4	（回答数）	2
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者の方の思いをきちんと聞くことができる事。	・保護者の方とゆっくりと話をし、訪問の様子をわかりやすく丁寧に伝えるように努力をしている。	・子どもの成長を保護者、事業所、学校と共有し合い、一緒に考えていける環境を作っていきたい
2	・学校と連携をして、学習面を含めた共通できる支援を行っていく事。	・宿題を含む共通した課題を、訪問先の学校の担当教員と連携・情報共有をしながらサポートをし、一緒に話し合っていく事ができる関係性を築けるよう心掛けている。	・保護者の要望や、訪問先の要望をきちんと聞くことができる体制を作っていきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・特になし	・訪問先が保育所等訪問支援に対して理解のない場合があると、連携をしていくには高いハードルがあると考える。(授業の様子を窓外からしか見せてもらえない。中々訪問をさせてもらえない等)	・理解をしてもらえるよう、繰り返し訪問先とコミュニケーションをとり、関わっていきたい。
2			
3			